

SARS-CoV-2 感染症分野における 国際協力による医薬品研究開発

概要

基調講演：「日本が目指す国際医療政策」

指定講演：「東南アジア諸国における COVID-19 パンデミックの現状と
医療現場が求める新たな医薬品や医療機器」

国際パネルディスカッション：
「SARS-CoV-2 感染症分野における
国際共同臨床研究・試験に対する期待と役割」

開催日程

2021年12月13日（月曜日）

15:00 - 17:40

プレゼンテーション形式

Online (ZOOM)

言語

日本語 / 英語（同時通訳）

会費
参加費
無料



[オンライン申込みはこちら](#)

オンラインからお申込みが出来ない場合
には、お手数ですが下記のリンクより
お申込書をダウンロードの上、Fax か
メールで事務局までお送りください。

[参加申込書のダウンロードはこちら](#)

NCGM 国際感染症フォーラム事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

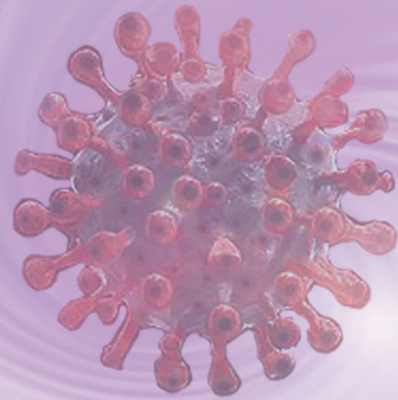
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
インターナショナルトライアル部

TEL: 03-6228-0445 FAX: 03-6228-0486

e-mail: kansensho-forum@hosp.ncgm.go.jp

website: <https://ccs.ncgm.go.jp/050/index.html>

国際パネルシンポジウム



プログラム

1 開会挨拶 15:00-15:05

国土 典宏 先生 (国立国際医療研究センター 理事長)



国土 典宏 先生

2 基調講演 15:05-15:15

「日本が目指す国際医療政策」

司会：森 和彦 先生 (日本製薬工業協会専務理事)

講演者：佐原 康之 先生 (厚生労働省健康局長)



森 和彦 先生



佐原 康之 先生

3 指定講演 15:15-16:15

「東南アジア諸国における COVID-19 パンデミックの現状と医療現場が求める新たな医薬品や医療機器」

司会：森 和彦 先生 (日本製薬工業協会専務理事)

講演者：ワタナバ・プラシット 先生 (タイ/マヒドン大学シリラート病院医学部学部長)

ユスフ・イラワン 先生 (インドネシア/モフタル・リアディ研究所所長)

デラーパズ・クティオンコ・エバ・マリア 先生 (フィリピン/フィリピン大学マニラ校エグゼクティブディレクター)

ウー・クオック・ダット 先生 (ベトナム/ハノイ医科大学講師)



ワタナバ・プラシット 先生
(タイ)



ユスフ・イラワン 先生
(インドネシア)



デラーパズ・クティオンコ・エバ・マリア 先生
(フィリピン)



ウー・クオック・ダット 先生
(ベトナム)

休憩 16:15-16:25

4 国際パネルディスカッション 16:25-17:35

「SARS-CoV-2 感染症分野における国際共同臨床研究・試験に対する期待と役割」

座長：杉浦 互 先生 (国立国際医療研究センター臨床研究センター センター長)

中谷 比呂樹 先生 (国立国際医療研究センター理事、世界保健機関執行理事、GHIT fund 会長・代表理事)

パネリスト：海外 ▶ 指定講演の演者4名

国内組織 ▶ 古賀 大輔 先生 (医薬品医療機器総合機構国際部企画管理課長 / アジア第二課長)

瀧澤 郁雄 先生 (国際協力機構新型コロナウイルス感染症対策協力推進室長)

飯山 達雄 先生 (国立国際医療研究センター臨床研究センター国際ナショナルトライアル部長)



杉浦 互 先生



中谷 比呂樹 先生



古賀 大輔 先生



瀧澤 郁雄 先生



飯山 達雄 先生

5 閉会の挨拶 17:35-17:40

杉山 温人 先生 (国立国際医療研究センターセンター病院長)



杉山 温人 先生